

プラズマを用いた材料改質技術について

開催のご案内

主催： あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター、愛知工研協会

プラズマは物質の第4の状態とも言われ、高い反応性を持つことから、材料合成や表面改質など様々な分野で使用されています。中でも低温プラズマは高い電子温度と低いガス温度を特徴とし、近年では医療分野への応用や、異材接合、リチウムイオン電池の高容量化を目的とした新規電池材料の合成など、これまで以上に幅広い分野で応用されており、注目される技術となっています。

本研究会では低温プラズマによる材料改質技術と、カーボン材料などの分析に用いられるラマン分光光度計の分析事例等をご紹介します。

参加費は無料です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 令和7年3月11日（火） 13:30～16:00

【場所】 あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 講堂

愛知県刈谷市恩田町1丁目157番地1 TEL: 0566-24-1841

【プログラム】

講演1：低温プラズマを用いた材料改質技術－異材接合からLiイオン電池まで－

13:35～14:50

名城大学 理工学部 電気電子工学科 教授 内田 儀一郎 氏

低温プラズマは、1万度に及ぶ高い電子温度と室温のガス温度を特徴としており、対象に熱的なダメージを与えず表面処理等が可能という利点があります。そのため、高温に弱い樹脂と金属などの異材接合が可能になります。また、プラズマスパッタリングによる成膜技術により、ナノ構造をもつ半導体膜の作製など、従来にはないものづくりも可能になります。このような低温プラズマを用いた材料改質技術について、基礎研究から産業分野への応用展開まで最新の研究事例を交えながらご講演いただきます。

講演2：ラマン分光光度計の基礎と応用

15:00～16:00

日本分光株式会社 光分析ソリューション部 ソリューション技術課 峯 紗理奈 氏

ラマン分光法は、有機物や無機物の分子構造を知ることができ、ルーチン測定から研究開発まで幅広く利用されています。本セミナーでは、ラマン分光法の原理や特長の解説に加え各種分野での測定事例もご紹介いたします。

<参加申込について>

■定員 50名（先着順）

■受講料 無料

■申込期限 令和7年3月7日（金）

※定員になり次第締め切らせていただきます。



■申込方法

○Web上からの申込の場合

<https://www.aichi-inst.jp/sangyou/other/seminar/>にアクセスいただき、該当の「プラズマを用いた材料改質技術について」の申込フォームに従って、お申込ください。右上 QR コードからもアクセスいただけます。

申込後に自動返信メールにて確認メールが届きます。

○メールの場合

件名に「プラズマを用いた材料改質技術について」と入力し、会社名、所属、氏名、会社住所、電話番号、メールアドレスをご記入の上 2025plasma@aichi-inst.jp までお申し込みください。

申込後に確認メールを返信します。

■講演内容についてのお問合せ先

あいち産業科学総合技術センター

産業技術センター化学材料室 山口、青井、中川

TEL 0566-45-5642 FAX 0566-22-8033

■交通のご案内

- ・名鉄、一ツ木駅（普通のみ停車）より南（郵便局方向）へ徒歩10分（約800m）
- ・名鉄、知立駅よりタクシーで10分（約2.0 km）
- ・JR、刈谷駅よりタクシーで12分（約2.5 km）
- ・駐車場：約200台駐車可能



※ 申込みの際にご記入いただいた個人情報は、セミナー情報の提供等、当センターからの各種連絡のために利用させていただくことがあります。また、参加者名簿を講師にお渡ししますので予めご了承下さい。

※ 受講票等は発行しません。直接会場へお越しください。定員を超えた際にはご連絡いたします。
体調が優れない方は、出席をお控えくださいますようお願いいたします。

※ 本セミナー内容について、録画・録音・キャプチャー取得等によるデータ保存行為を固く禁止します。